

柳原銀行記念資料館 第35回特別展

崇仁芸術の源流・雲龍図

～芸大・世人研移転に寄せて～



2023年9月27日(水)～10月29日(日)

(展示替休館日：9月21日～24日)

(終了後展示替休館日：11月1日～4日)

会場定員 80名、会場先着順、入場無料

芸大・世人研移転記念シンポジウム

- ・日時：2023年10月28日(土)
午後2時～午後4時30分
- ・基調講演：「今村家文書と崇仁研究」
世界人権問題研究センター 小林丈広 PT2 リーダー
- ・シンポジウム
コーディネーター：淀野 実 (世界人権問題研究センター事務局長)
パネラー：小林丈広 (世界人権問題研究センター PT2 リーダー)
山内政夫 (柳原銀行記念資料館事務局長)
佐藤知久 (京都市立芸術大学芸術資源研究センター教授)
- ・会場：世界人権問題研究センター
(京都市立芸術大学キャンパス内 A棟 7階)
所在地：京都市下京区下之町

柳原銀行記念資料館

所在地：〒600-8206 京都市下京区下之町 6-3

問合せ先：☎(075) 371-0295

開館時間：午前10時～午後4時30分

休館日：月曜日、火曜日、祝日

入館料：無料

交通機関：京都駅 (JR、地下鉄) から徒歩約8分

市バス 205系統、17系統「塩小路高倉」下車

※駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。

ホームページ：

京都市情報館 (<http://www.city.kyoto.lg.jp>) から「柳原銀行記念資料館」で検索

主催：京都市

柳原銀行記念資料館運営委員会
公益財団法人世界人権問題研究センター

同じです あなたとわたしの 大切な
令和5年9月発行
京都市文化市民局共生社会推進室
京都市印刷物第054529号



崇仁芸術の源流・雲龍図

～ 芸大・世人研移転に寄せて～

いよいよ本年10月、京都市立芸術大学（以下「京都芸大」という。）が崇仁地域に全面移転し、キャンパス内の京都市学外連携・政策連携スペースには世界人権問題研究センター（以下「世人研」という。）が移転してまいります。日本固有の差別である同和問題をベースに、世界レベルでの人権問題の研究を通じ、崇仁から「人権、芸術、環境」を世界に発信していくまちづくりが開始されようとしています。

柳原銀行記念資料館では、2017（平成29）年9月に開催しました開館20周年の特別展において「我ら、山水河原者の末裔なり～芸大移転に寄せて～」と題して、作庭などの技術を業とした山水河原者を取り上げました。当時の特別展においては、「京都芸大が崇仁地域に移転することは、崇仁地域や京都駅周辺（東部エリア、東南部エリア）地域にも歴史的な意義をもたらすものであり、多くの人々と共に京都芸大を通じて、『京都の歴史や文化を世界に向けて情報発信する』だけでなく、同時に『マイノリティーの歴史や文化も発信していく』機会となる」よう、京都芸大移転に対して歓迎のエールを送りました。

今回の特別展では、京都芸大及び世人研の崇仁移転を記念して、崇仁地域に所縁のある芸術品の一つである、伝狩野永徳作「雲龍図」（元崇仁小学校蔵・京都市学校歴史博物館管理、江戸時代初期）を中心に、旧柳原町が購入した道正庵の写真などを展示します。

この「雲龍図」は、崇仁小学校に所蔵されていた大画面作品で、「同和教育の源流」を作った伊東茂光校長の崇仁教育の実践、わけても精神授業として静座修行が行われていた「静室」の床の間に飾られていたものです。

「龍」はその姿を現すとき、「雲」を呼び、雨が降るとされました。神秘的な「龍」が見つめるその前で、崇仁の子どもたちは座禅し、差別や困難に立ち向かう精神を鍛えました。戦後、当時座禅を体験した子どもたちは「座禅は荘厳な場であり、伊東校長は厳しかった」と語っています。

同和教育の源流である、「崇仁教育」が「衝天※」を迎えたのが、1932（昭和7）年、奈良県美吉野運動場で行われた「日本女子オリンピック第9回大会」、尋常科400メートルリレー競技で初優勝し日本一になったときでした。この時代、崇仁の子どもたちは、劣悪な生活環境のもと、その能力の伸長が阻害される厳しい教育環境におかれていました。そのような中での優勝となり、子どもたちの努力とそれを支えた教職員の取組が実った瞬間でもありました。この時の優勝トロフィーも展示します。（※…天をつくばかりに勢いが盛んなこと。）

今回は、京都芸大・世人研の崇仁移転を機に、「雲龍図」を通して、今一度、崇仁地域に所縁のある芸術や、同和教育の歴史に触れることのできる機会となるよう「柳原銀行記念資料館第35回特別展」を開催します。